

平成29年3月24日（金）13時30分～

交通政策審議会海事分科会第87回船員部会議事録

【成瀬専門官】 それでは、定刻となりましたので、ただいまから交通政策審議会海事分科会第87回船員部会を開催させていただきます。

事務局を務めさせていただきます海事局船員政策課の成瀬でございます。よろしくお願いいたします。

最初に、船員部会長の任期の満了に伴う新たな船員部会長の就任について、ご報告をさせていただきます。既に各委員及び臨時委員の方へは事務局より電子メールにてお伝えしているとおおり、交通政策審議会に所属する委員の任期が3月12日をもって満了しました。これを受け、3月15日付で河野海事分科会会長が選任され、分科会長より船員部会の委員として、資料の2枚目の船員部会委員等名簿を見ていただきますと、鎌田委員、河野委員、竹内委員、野川委員の4名の方が引き続き指名されております。

船員部会長を選任するにあたり、船員部会運営規則第4条第1項に基づきまして、船員部会の委員4名の方の互選により、引き続き野川委員が船員部会長に選任されております。

野川部会長、ご挨拶をお願いいたします。

【野川部会長】 引き続きこの部会長の任に携わることになりました、野川でございます。相変わらず頼りにならない部会長ではございますが、皆様のご協力、ご指導を御ましまして、進めてまいりたいと思っておりますので、何卒ご協力をよろしくお願い申し上げます。

なお、船員部会運営規則第4条第2項に基づきまして、部会長は部会長の職務を代理する者をあらかじめ指名することとなっております。本日はご欠席でございますが、あらかじめ竹内委員にご了解をいただいておりますので、ご報告をしたいと存じます。

【成瀬専門官】 ありがとうございます。本日は委員及び臨時委員、総員19名中16名のご出席となりますので、交通政策審議会令第8条第1項及び船員部会運営規則第10条の規定による定足数を満たしておりますことをご報告申し上げます。

次に、配布資料の確認をさせていただきます。お手元の資料をごらんください。

上から議事次第、船員部会委員等名簿、配布資料一覧、その次からが議題の資料となります。資料の番号は資料の右上に記載してございます。

資料1として、諮問文、諮問第274号「船員派遣事業の許可について」というものが、

別紙を含めて2枚。その参考資料として、資料1-2が5枚。こちらは委員限りの資料となります。

資料は以上ですが、行き届いておりますでしょうか。

以上で資料の確認を終わらせていただきます。

それでは、議事に入りたいと思います。野川部会長、司会進行をお願いします。

【野川部会長】 それでは、早速議事を進めてまいります。

議題の「船員派遣事業の許可について」でございますが、本件につきましては、個別事業者の許可に関する事項であり、公開することにより当事者等の利益を害する恐れがありますので、船員部会運営規則第11条ただし書の規定により、審議を非公開とさせていただきます。マスコミ関係の方をはじめ、関係者以外の方はご退席をお願いいたします。

(非公開・関係者以外退席)

【野川部会長】 本日意見を求められました諮問につきましては、「別紙に掲げる者に対する船員派遣事業について、許可することが適当である」という結論とすることとし、海事分科会長にご報告したいと存じますが、よろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

【野川部会長】 ありがとうございます。

それでは、本日はこれで予定された議事は全て終了いたしました。ほかに何かございますでしょうか。

平岡委員。

【平岡委員】 この場で何回かお話はさせてもらったんですけども、改めまして、宇野高松航路の維持存続、航路の存続の件ですけども、宇野高松航路については、平成27年10月末に2県2市、岡山県、香川県、それと玉野市、高松市が、航路存続に向け、3,000万円の支援を行うことを決定し、本年度についても、2県2市が同額の支援を行うことを既に決定しました。

このような状況の中で、国も、この宇野高松航路の必要性については、当初から認識しているという状況の中で、国のほうは直接的な支援はできないけれども、航路存続に向けて、側面からの支援を検討したいということはずっと言っていたわけですが、具体的にどのような支援が検討されているのか、その内容が全く見えてこない状況であります。

現在も架橋と熾烈な競争にさらされている航路事業者は、既にこの4月に、これまで2隻体制で10便で行っていましたが、1隻体制5便ということで再度減便を余儀なくされた状況になっております。関係地方自治体が航路存続に向けて支援している中で、自治体任せではなく、国としてもこの航路存続に向けて積極的な支援が必要と思いますが、その辺も踏まえまして、今、どういう状況にあるのか、またその支援についても早急に検討していただきたいと思っております。

【野川部会長】 ただいまの点につきまして海事局から何かございますでしょうか。

はい。

【高杉船員政策課長】 基本的には、こういった場以外にもいろいろな点で宇野高松航路の問題について、取り上げられているんだと思っておりますけれども、今現在、平岡委員からご意見いただいた点について、現状や国としての積極的な支援が必要ではないかということについて、具体的に回答できる材料を持ち合わせておりませんので、大変恐縮なんですけれども、改めてまたご回答をさせていただければと思っております。

【野川部会長】 では、そのようにお願いいたします。

ほかにいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、事務局よりお願いいたします。

【成瀬専門官】 次回の部会の開催日程につきましては、部会長にお諮りした上で、改めてご連絡をさせていただきます。

事務局からは、以上でございます。

【野川部会長】 それでは、以上をもちまして、交通政策審議会海事分科会第87回船員部会を閉会いたします。

本日はお忙しいところ、委員及び臨時委員の皆様にはご出席いただき、ありがとうございました。

— 了 —